

第9回
多可町生涯学習まちづくり委員会

会議録

《概要版》

事務局 多可町生涯学習課

第9回多可町生涯学習まちづくり委員会 会議録

- 日時 令和5年7月10日(月) 午後7時30分～午後9時00分
- 場所 アスパル 研修室
- 出席者
- ・委員 8名/12名(敬称略)
近藤 文好 杉本 真 山本 和樹 山本 早希
遠藤 ひとみ 藤賀 幸子 小寺 祥之 後藤 さおり
 - ・欠席委員 葛木 伸一郎 小林 一光 石塚 郁 立岩 一真
 - ・事務局 生涯学習課 課長 藤原 徹
副課長 梅田 一志
課長補佐 橋本 行広
理事兼教育総務課長 金高 竜幸
教育総務課 図書館長 依藤 啓子
- 議 事
- (1) 広報8月号の紙面(愛称募集)について
 - (2) 第2回ワークショップの内容・日程について
- 会議結果
- (1) 広報8月号の紙面(愛称募集)について
募集期間を9月30日まで。
募集対象は在住、在勤、在学の人。
年齢は不問で、1人1点まで。
募集チラシを作成し、町内の小・中学校、高校、特別支援学校、こども園に配布する。
 - (2) 第2回ワークショップの内容・日程について
日時は、11月12日(日)
事務局、座長、副座長で第2回ワークショップ(住民自主企画)内容、チラシの検討をし、委員に展開する。
 - (3) 今後の予定
 - ・9月上旬に委員会開催
内容：運営体制について
愛称募集の途中経過について
第2回ワークショップ(住民自主企画)について

■会議の経過

<p>次第 1</p> <p>(座長)</p>	<p>開会</p> <p>前回の会議ありがとうございました。非常にご無理を言って、会議の日にもう決めなアカンということでキャッチコピーを決めていただきました。</p> <p>7月広報に載りましたように、キャッチコピーとして、あなたの「できる」がふえるあつ「たか」広場～welcome to ○○○○～に決まりました。この反響なんですけど、広報を見られた方から、私の方に直接連絡をいただいて、なんか分かりやすいとか、なんかいい感じやねとか、というような好意的な意見を聞きました。非常に皆さんにご努力いただいて、感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>今日は主に第2回目ワークショップの内容についてがメインになりますので、また皆さんのご助言というか、ご意見の方、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>では事務局の方から進行をお願いします。</p>
<p>次第 2</p> <p>(事務局 橋本)</p> <p>(座長)</p> <p>(A委員)</p> <p>(座長)</p> <p>(B委員)</p>	<p>広報8月号誌面について</p> <p>はい、では次第に沿いまして始めさせていただきたいと思います。資料1として広報8月号の誌面をつけさせていただいてます。まだちょっとこちら広報担当が作った誌面じゃなくて私の方で作った下書きというか、案なので、だいたいデザインとかが変わると思うんですけども、内容についてご意見いただければなと思います。ワークショップの方につきましては次第の3番でいろいろ話し合いますので、内容については後に回したいと思います。</p> <p>まず愛称募集の方、何かもうちょっとこうの方がいいんじゃないかという意見がありましたらいただきたいと思います。特に見ていただきたいのは、応募資格であるとか募集期間です。あとは商品とか決定方法とかその辺りを見ていただけたらなというふうに思ってます。</p> <p>はい今事務局の方からお話がありましたけど、この資料1の右側ですね、右側を見ていただいて何かここはこうの方がいいなとかありましたら、ぜひお願いします。</p> <p>これを当ててた方が意見が出るのかな。A委員の方から何か。</p> <p>ちょっとざっと見てて気になったのは決定方法というところがその委員会において決定するとなっておりますけど、それでいいんでしょうかっていうこと、話し合った方がいいのかなとは感じました。</p> <p>はい、B委員さんお願いします。</p> <p>賞品のところですけども問い合わせの上のところなんですけど、記念品を差し上げますっていう表現よりも、何か差し上げますっやたら上から目線のような気がするんで、記念品を贈呈しますとか、お渡ししますとか何かそういう柔らかい表現がいいかなと思うのと、それから加美区だったらAコープの加美コッコちゃんね、あれ加美町の方がうちの隣保の人も入ってっんですけど、3人同じ名前があったらいいんですけど、なんかそうなるとすごく親しみやすいと思うので、募集対象は町内にお住まいの人っていう。1人が出しても2万人ほどあるので、そうされても</p>

	いいかなと思いました。
(座長)	はい、C委員さん。
(C委員)	一番上の部分ですけども、たくさんの人に愛され、たくさんの皆さんから、「たくさん」「たくさん」がちょっと重なってる。それと年齢は問いませんか、複数応募可か1人一点とか、何かどこかで分かるようになればなと思います。以上です。
(座長)	はいありがとうございます。課長お願いします。
(教育総務課長)	そうですね。実は統合中学校のときにもそういうふうな話が出たときにChatGPTの話が出たんですけど、そういうもので要件入れて出しちゃうとかいうことがあるのかなのかということもあるんで、1人点かなというふうに思いながら見てました。町内の方に町内の方というか在勤も含めてと書いてあるんで、全国から来ることはないの、そんなに心配することもないのかなと思いましたけれども。そういうところですね。すいません、もう少し見てからもし何かありましたらまた言います。
(図書館長)	すいません私も同じです。1人何点とかそういうのがあったらいいのかなというふうに思っで見させていただきました。以上です。
(D委員)	最初に言われた、「たくさん」の「たくさん」のが二重になってるって言われたので、その下の方の「たくさん」を消して、多くのにされたらどうでしょう。それから対象は町内に住んでる人かお勤めの人で1人一点ということにした方がいいのかなって。年齢制限はなしでいいかなと思います。そして、まちづくり委員会において決定しますっていうのは、もうここだけで決めてしまう。
(座長)	そうですね、この文面からするとそうですね。
(生涯学習課長)	荷が重いということでしたら候補としてほしい、そういうことですね。言うたらそういうことですね。それでもよければそれでもいいし、はい。
(D委員)	ちょっと、いや、どうしたらいいかなって思いますね。 はい。それくらいですかね。
(座長)	はい、E委員。
(E委員)	はいそうですね皆さんが、今おっしゃられた以上には特にはないです。はい。
(座長)	F委員お願いします。
(F委員)	ほとんどおっしゃっていただいたようなことでしたけれども、一つ応募方法の文章の真ん中の応募方法は、町ホームページからダウンロードしますって書いてある

	んですけど、応募用紙かなと思いました。
(座長)	課長。
(生涯学習課長)	特になくて。この若干名に記念品を差し上げますということで、それでいいかなと思って、なんか商品で釣るわけでもなく、愛情というか多可町愛で、何か応募していただいたやつがいいのかなと思って、個人的にはその住むところを絞らないで、そういう多可町にご縁のある方とか、それはどうかわからないんですけど、そうかなと思ったんですけど委員さんのご意見をお聞きすると、やっぱりもう町内でいけんでということなんであれば、もうそれでいいのかなというふうに。以上それが感想でございます。
(事務局 梅田)	はい、すいません内部調整不十分なお話をして申し訳ないんですけど、先ほど決定方法の話で委員会で決定しますという話がありましたけども、実は行政手続き的には新しい施設ができるということなんで設置管理条例ということで、実は議決案件になります。ですから最終的にイエスのノーいれてもらうのは議員さんになるんですけども、結局そこへ持ってあがるのにどういうプロセスで決定しましたということをご説明せなあかんようになりますんで、委員会で絞り込みましたとかね、ここが決定しましたと、最終的にはそういう格好になろうかと思えますけども、ちょっとその辺りの表現をどうするかというというのが一つ課題かなと思います。
(事務局 橋本)	いろいろご意見いただきましてありがとうございます。 私もこれ急ぎ作りながらこれでいいのかなと思いつつ作ったところいろいろ指摘していただいてすごく参考になりました。 最終的にどうするかっていうところなんですけども、募集対象お住まいの人だけにするのか、町内に今お勤めの方まで入れるのか、最終的にどうやって決めたらいいかなんですけども、今お話聞いているとお住まいの人だけっていう方が、多いのかなという感じは受けたんですけども。
(図書館長)	というか多可高の方もおるから、在学というかそこは入れてあげてもいいかなと。
(事務局 橋本)	じゃあ町内にお住まいの人。在勤在学の人。
(座長)	募集対象はそれでいきましょう。
(事務局 橋本)	あとですね年齢は問わないということで皆さん一致していたかなと思うんですけど、1人何点までっていうところなんですけど、私もちょっとあんまりちょっと弱気で、あんまりこないかなというのもあって、1人何点でもOKかなとか勝手に思ってたんですけども、これは1人1点の方がやっぱりいいですかね。3点までとか。無制限だとちょっと安いかなと思うんで、なんぼか制限つけるか、1点でいくか。
(生涯学習課長)	応募用紙に3点まで書けるようにするとそういうことやろ。1点だったら1個し

	か書かれへんし。
(事務局 橋本)	インターネットからも申し込みできるので。
(座長)	学校の多可中学校、あのときは1人1点ですか。
(教育総務課長)	どうでしたっけ。僕も最初の募集のときに入ってなかったの。
(座長)	あのときは1人1点やなかったかな。
(教育総務課長)	ただ、集まった数はあんまりなかったと思う。 100ちょいやったかな。
(座長)	まあ、1人複数でどうでしょう。
(事務局 橋本)	上限なしで?
(座長)	3点やったら3点とか。まあ1人3点にしましょか。
(D委員)	多分1人1点というふうにしても、例えばね、5人家族の人がいて、パパが考えて、他の家族が応募されるの方もいらっしやると思います。どっちがいいかわからないけど。
(座長)	1人1点で行きましょう。 そのたくさんたくさん文字なんですけど、どういう文章にしたら。たくさんをどっちを取るかですね結局は。
(事務局 橋本)	さっき色意見いただいたんであれば、下の方をもう多くの皆さんとか。
(座長)	そっちの方がいいね。 ここはそういうふうに変更させていただきます。 それで応募方法は応募用紙。
(事務局 橋本)	それで一番悩ましいのはその決定方法のところ。これちょっとまた内部で話をさせてもらって、ちょっといろいろ手続き的なものもあるのもうちちょっと表現を変えさせてもらおうかなというふうに。
(座長)	うん。これはもう事務局の方で。
(生涯学習課長)	いちおうの候補とか絞っていただくのは委員会の方で絞っていただいて、参考意見として内部で決めてもらうとか、その辺のところで。 ちょっと文言は僕思いつかへんけど。
(事務局 橋本)	もうちょっと事務局の方で考えさせてもらって、させていただきます。

(生涯学習課長)	候補の選考という形で、なんかどっちでもとれるような文章で。
(座長)	あと賞品のところもちょっと柔らかい言葉で
(事務局 橋本)	そうですね。贈呈しますで。あと記念品もちょっと気になるんですけど記念品でよろしいですか。特産品とかの商品券とか具体的に書かんと記念品で。
(E委員)	記念品って書かれたら何かそのために何か作ったみたいな感じが。
(D委員)	何かもう予定されている。
(事務局 橋本)	いや、まだ何も予定してないです もう記念品のままで。
(D委員)	いやいや、だから町内の何かがもらえるみたいなことでしょ。
(座長)	まちの特産品を考えて
(F委員)	でも商品券の方が
(D委員)	良いと思うけど。
(事務局 橋本)	多可町の商品券は多可町で使うからってというのはあるんですけど 商工会商工会の。
(座長)	それもいいけどな。
(B委員)	すいません。このまちづくりプラザというのは、今の小学生とかがずっと 30 年 40 年と使ってほしい。幼稚園は難しいにしても小学校や中学校の子たちからもぜ ひ応募してもらうということで、これ夏休み期間なので、ちょこっとそっちの方にも チラシとか募集ね、案外柔らかい頭でね、私達が使うよりもその子たちの方がぐ ーっと長い間使ってくれるので、そういう方にも呼びかけされたら。この決定する ものがこんな高齢者でいいのかなとか思ってるんですけど。 だから子どもたちがずっと使えるような、まちづくりプラザだっというようなこ とになればいいかなとちょっと思いました。
(座長)	特に広報なんかはちっちゃい子どもなんかは見ない。親がね、まあいうたら関係 があるんで、それこそ各学校に直接お願いをするような感じで、多可高・中学校・ 小学校・保育園・こども園含めて。
(教育総務課長)	多分自由課題ではないんですけども、強制ではなくて、そういう形でチラシを持 ってということでいけば、受け取っていただけたと思います。

(座長)	ちょっと広報とは別にチラシを作る。
(生涯学習課長)	そうやね。
(座長)	費用は大丈夫ですね。
(生涯学習課長)	大丈夫です。
(座長)	そしたらそれで。
(事務局 橋本)	そうですね。夏休みまでちょっともう時間がないので、できるだけ早急にチラシを作ってもらって、小中高校に回らせてもらってお願いしたいと思います。
(座長)	小学生とか中学生にわかるような文言の問いかけで。
(事務局 橋本)	そうですね。
(A委員)	よろしいですか。 B委員の意見も大賛成なんですけど、それは、日本語というか言葉でないといけませんかっていう。絵じゃダメですかっていう。何かその字が書けないけど、こうなんかあふれるイメージをこういう愛称でみたいな、そういう言い方もあるのかなと思って。
(座長)	OK OK
(B委員)	だから絵できたらね、それをキャラクターにしてもいいわけじゃないですか。
(A委員)	そうそう。
(B委員)	だからそういう方法もいいかもしれませんね。
(A委員)	だから用紙のところは必ず来ているものでなくても OK とか。
(D委員)	とりあえず愛称でしょ。
(生涯学習課長)	そうです。
(D委員)	そうしたらやっぱり文字にしないと愛称とはならないので、絵とかそのキャラクターっていうのはまた別の機会に採用するというのはどうですか。
(座長)	それでも絵は面白いね。
(D委員)	字が書けない子もこの愛称に参加したいって言ったら、多分、家族に言葉で言いますよね。それで親がその3歳の子が考えましたって出してもいいわけですよ。

	そこに別にあのキャラクターみたいなその子が書いたキャラクターも一緒に提出するっていうのは OK だと思いますけど、その愛称としてその絵が採用されるというのは、いかがなものかなと思います。
(座長)	了解です。
(D 委員)	それはまた別じゃないかなと思います。
(座長)	万が一愛称募集として書きますけど、イラストとか書いて子供さんがこられた場合はそれはそれでまた何かね考えましょう。
(生涯学習課長)	うん。
(B 委員)	それと今大学って言われましたけど、また多可高校、中学校がありますけど、特別支援学校もですよ。
(座長)	もちろんです 森のようちえんももちろんです。
(座長)	はいありがとうございます。 それでは愛称の広報 8 月号の誌面に関して、およびまた愛称の募集に関しては今の意見を参考にして、あと橋本くんに一生懸命頑張ってもらおうということです。よろしくお願いします。
次第 3	第 2 回ワークショップの内容・日程について
(座長)	では今日のメインの話になります第 2 回のワークショップの内容と、あと日程を決めたいと思います。資料の 2 で出しています。 これはあくまでも私が勝手に作った個人的なあれなんで、全くこれに偏るといっか、これにせなあかんとか、これによるとか、そういったことは一切言い関係なく、まず委員の皆さんから、こんなワークショップとかできるんちゃうん、こんなことをしたら楽しいんちゃう、こんなことをしたらみんなが喜ぶんちゃう、こんなことをしたら生涯学習まちづくりプラザが PR できるんちゃう、そんな何か思いとか、具体的でなくてもいいんで、お話をまずはいただきたいと思います。
(F 委員)	やりたいことを言う。
(事務局 橋本)	そうですね。今度のワークショップでどんな事をしたいか
(F 委員)	ワークショップでしたいこと。
(座長)	F 委員さん考える時間を与えますんで、E 委員に
(E 委員)	ここの第 2 部のところの文言が、あなたのできるが増えるやった方がいいかなと

	<p>いうふうに下の説明はそのままでもいいと思うんですけど。その方が、なんかキヤッチコピーにリンクしてるからその方がいいかなと。</p> <p>ワークショップの内容と言われると。次に回します。</p>
(D委員)	この1部の愛称を発表・お披露目っていうのはもう決定なんですか。
(座長)	いや、決定じゃないですこれはあくまでも僕の個人的な案です。
(D委員)	開催の日程なんですけど、それって今年度中にそのワークショップを。前のワークショップ1回目になったのは
(事務局 橋本)	1月です。
(D委員)	それは前年度ですね。今年度は、初めて。
(座長)	初めて
(D委員)	今年度中に、大体何回ぐらい開催するとかっていう予定はもう決まってるんですか。
(事務局 橋本)	これは1回
(生涯学習課長)	愛称発表だけでもたへんなというのもちょっとあるんですよ。違いましたっけ。
(D委員)	愛称を8月の広報で募集するんですね。締め切りが8月31日ですか。そしたら発表はここに書いてあるのは9月18日
(事務局 橋本)	これはあくまで案です。
(D委員)	大体その辺そのあたりみたいな感じですか。
(事務局 橋本)	そうですね。8月いっぱい募集して、9月の頭で1回寄って、みんな出合って披露を9月中にするみたいな感じ。
(D委員)	はいはい。
(座長)	議会はどうなるんかいな。
(事務局 橋本)	その議会とかまでは多分まだとおさへんと、候補を選ぶ感じですかね。
(D委員)	そっか。そしたらここに書いてある第3部の建築現場の視察？今なんかされてますよね。

()	解体
(D委員)	そしたらそれ9月とか、これぐらいになったらあと2ヶ月ぐらいたったら、もうあれなくなってしまうてる。
(座長)	そうですね、更地の状態やと思います。
(D委員)	まだ建物の枠は
(事務局 橋本)	まだまったく
(D委員)	そしたらちょっと無理やね。
(生涯学習課長)	枠が見えるところまで行くんやったら、順調にいったら10月の中旬ぐらい言うて、プロジェクトからは聞いているんです。その時期と言えばそうなって、9月の中旬のこの18日とかやったら更地ということと、10月に入ったらお祭りとかいろいろあったりして、なかなかちょっと日程がしんどいな言うて、この辺かなという勝手に思っただけでね。
(座長)	多分だから更地なので、僕のイメージとしては更地の上に白線で実際に建物の大きさというか外観を書いて、こんな感じの希望者だけになりますけど見てもらうみたいなの。
(D委員)	みんなで書くんですか。
(座長)	いや、白線引くのですか？
(生涯学習課長)	現実には、その更地のところで例えばこの辺やねという話をいうくらいの話です。
(D委員)	妄想するわけ。
(生涯学習課長)	妄想ですね。
(座長)	多分ね前の北アリーナの感じよりも、更地になったらすごく広く感じられると思います。今もちょっと見てきたんですけど。多分、前に見た図面よりすごくなんか開放的なイメージになると思いますね。はい。
(生涯学習課長)	その現場視察だけでももたへんし、愛称発表だけでもちょっともたへんし、ということの間を多分座長が考えてくれたと思ってるんですけど。
(D委員)	ちょっと現場は見てみたいなのという気持ちはあったんですけど、もうちょっと先になるんですね。ちょっと日程とか何かいろいろ考えたら、ちょっと厳しいかな。
(座長)	現地視察みたいなことは、また別にはできると思いますよね。

(生涯学習課長)	もうそれだけで、もしありなんやったら。それだけで弱いうことなら何か。また出してもらわなあかんけど。その辺どうかな。
(図書館長)	まだ頭の中で整理できてないんで、こちらに案ということで、これ第2部の募集というのは同時並行で募集、まあほんまは裏面にやからその詳しいことを今から行く。プレゼンも9月18日にするのに手をあげてねという感じのあれやね。
(事務局 橋本)	イメージはそう。
(図書館長)	そういうことですね。いやなんかこれを広報の方こっちも案でまだあれやけど、いつぐらいまでに申込みするのかなというのが今ちょっと全然見えへんかったから、どういう感じで進むのかなとちょっと見た感じは思います。それでさっきの愛称じゃないですけど、たくさん来ないというちょっと想定なのかあるのかないかわからないですけど、いやたくさん来たらこれ。
(座長)	たくさんあったら嬉しい悲鳴ですね
(図書館長)	なんか第3部まであるからなかなか大変な時間割になるから、まあ蓋開けてみると分からへんのかな思いながら、このチラシをちょっと今、ごめんなさい考えまわってなくて、感想ですけど、すいません以上です。
(教育総務課長)	それとさっきの愛称のところで確認だけなんですけども、学校にもし依頼するんやったら夏休みはそこ最終日が締め切りなんで、学校関与せずにもう直接生涯学習課に出してもらいう形なんですかね。多分先生に渡したりしてたらもう9月に入ってしまうので、それやったらチラシを出すときに、もうそういう形であってということだけ断り言われた方がいいのかなというところです。 それからこの第2部は、実際に2部で何をするかというよりも、このことを、結局このまちプラで、できてからやってみたいということを発表してもらおうということでもいいですか。
(座長)	そうです。
(教育総務課長)	なるほど。うん。 こうやって募集したらくるかな。 そうですね。期待したいと思います。
(C委員)	すいません。 この四角の第2回ワークショップの上に新しい住民ワークショップってあるんですけど、この新しいのは意味がわからない。
(座長)	特にはないです。
(C委員)	それと第2部のワークショップが、橋本さんがメールに書いていただいていたよ

うな、私はこんなことしたい、こんなことをやってもらいたいというような案。そういうようなね、いろいろ提案うか。具体的な熱い思いを出していただいたらいいんじゃないかと思えますけど。

(B委員)

今の2番のところなんですけれども、山本さんに作っていただいているのを見て何か考えてない者が言うのもあれなんですけれども、呼びかけのところに、どっかにあなたの居場所がここにあるっていうような柔らかい表現もあってもいいかなと思います。一番上でもどっかにあなたの居場所がここにある。それで、たかの風を毎年全戸配布されるんですが、その後ろに芸能サークルとかいろいろあるじゃないですか。ほんで町やらわかれながらもあるんですけど、そういうところでも呼び掛けしてもいいんじゃないでしょうかね。

だから新しいことをしようと思うのもそれも一つの案ですけど、今まであったものをさらにバージョンアップっていうか、ここではさらにこんなことできるんよっていう。短歌の会でしたら、奥播磨短歌の会もありますし、すずめの会、何かいろいろあるんですけど、そういう人たちが今まで作ってた短歌をずらっとお習字の上手な人を書いてもらってずらっと並べるとかね。あるものを絵手紙の人もこんなのをしたいです言うて、もうぱっと見せていただいたらわかるので、ゼロから作るんじゃなくて今までされたものをこちらからアクセスして、どうですか。それで図書館もできますので、あの八千代の方に植山さんかなんかが中心に何か読書サークルから何か作られてるんですね。よく池波正太郎さんの本を読むとかされてますよね。そういう人たちもこのプラザでご披露していただくというような方法どうでしょうかって呼び掛けとか、もし橋本さんもあれやこれやで大変だったら私達言っていたら知ってる方がいらっしゃったらそのサークルにお声掛けしたり、ちょっと図書館と関係のあるようなことも入れてもらえたらなと思います。短歌の本も図書室にたっぷりありますし。この間藤本かつみさんと席が一緒だったんですね。あの人山田錦を作って加藤登紀子のお米を作りよって、今は作りよってないみたいですけど、もう米のことや野菜のことならどっこでも行くでとかいう。やっぱりいろんな方がいらっしゃって、前に座ってた芦田さんという人もなんか織物のことなら何でも聞いてとかいうて、そういういっぱいいてはるからそういう前の参加者だけでも出てくるんじゃないかなと思って、藤本さんなんか名刺までいただいて、したい事を書いてあるからまだ連絡よしてないんですけど、尋ねたいことがちょっとわからないですけど、もういろんなこと言いたくてしゃあないんやってあのときもワークショップのときにおっしゃったので。

この間の門脇議員さんの新聞が入ってましたね、入ってませんでしたか、チラシが入ってたんですけど、何て言うんですかね。発信してもらわないとわからないことっていっぱいあるので、宝を持ってはる人は町民でいっぱいいらっしゃるんじゃないかなと思います。だから、どうアクセスするかっていうようなことが大事かなと思って。2部それこそC委員さんだったらね、しますって多分言うて夢を叶えてくれていると思うんですけども。そういうようにベルディーとの関係もあるかもしれないんですけども、新しいプラザができるのですから、ちょっとバージョンアップしてやってみようとか、それからあのちっちゃな子たちがダンスしてたり、ヒップホップのダンスしてる子もあるので、加美区の金高さんにでもお声掛けしたら、きつこうねそろそろ言ってくれって思うんですね。でもこの紙1枚ではなかなかこれはこ行政まで届かないんじゃないかなと思って。

実は私ちょっとだけ各学校の図書室を回してもらってる仕事をちょっとさせてもらってるんですけど、この間からたか広報を持ってずっと回ってるんですけど、そんなんでできるのんとか言う子がほとんどで、えー知らんのいうてこっちも驚いて、これたか広報に載ってるのよって言ったらいやそれはおじいちゃんおばあちゃんが見るやつやろいうて、いや違うよ、あなたたちが使うところなんだよって言ったらやった一とか言うてね。このことはずっと今の私たちが考えてることをつなぐ役割が、この委員会じゃないかなというような気がしています。

だからもう子供たちはすごく喜んでますね、あの写真を見せたら。そのままの部分ができると思うから。多可町のどこにできるのとかね。アスパルの近くよって言ったらバスは止まるのとかねもうなんかほんまに行きたいっていうのがすごく実感してますので、そういう子たちにも届けるっていうか、こう紙1枚では届かへんねんっていうようなことをものすごく感じています。興味のある人は見ますけどね。だから何とかして今ある芸能で頑張ってる人、その人たちにもお声掛けしていただけたらなと思って今思いました。

(A委員)

もうB委員のおっしゃる通りです。

いや、その各グループに声をかけるっていうのは、この委員会がはじまったときにそういうことで宣伝していこうみたいなことも話したので、そういうのもあって、今のお話の中で、その子供たちが本当にそんなに期待してくれてるっていうか、そういうものになるんだったら、もう愛称はそういう人たちでいいと思うねぐらいに思ってしまうんですが、もう本当にそういうふうなものができると、本当に何か未来があるっていうか、何か素晴らしいなって今お話聞いて思いました。もうそういうワークショップっていうか、そういう集いになればいいのかな。まだまだ今の話だと子供たちに浸透してないっていうか、まだ知られていないということなので、その部分なんかターゲットに当てた何か広報が必要だということなのかなって思います。

何をやりたいっていうのは今話を聞きながら思ったんですけど、この前のコークゼミのときになんか最後話してるときに、なんか運動会があったらいいなみたいな話が出たりとか、それでちょっと思ったんですけど、多分多可町の中に文化祭があると思うんですけど、学園祭やったらどうなのかなみたいな。ここで。そういうふうなこともこの中に出てくるといいのかなって思いますね。

(座長)

ぜひA委員がそれを応募用紙に書いて。

(A委員)

いやもうそういうバイタリティもないので。まあきつとそういったことを若い方たちが出てくる来るのかなと。それともう一つはやっぱり世代的にはこの前のワークショップにも託児所をつきだということで、若いお母さんがいらしたと思うんですけど、今度は本当若いお母さんと子供たちも一緒に参加できるようなワークショップを。一緒に遊べるワークショップみたいな、そういうのもいいのかなって思ったりしてます。

はい思ったのは、もう全部B委員さんに言われました。

(F委員)

2部のやりたいっていうところはやっぱりこれから使っていくであろう子供たちのやりたいを聞いてみたいと思います。

あと全然違うんですけど、開催日今の予定で9月になってますけど、暑いんじゃないかなと思って。暑いとやっぱり来られる方が限られちゃう。お年をめした方とかもう暑いからちょっとやめとこってなるし、なのでもうちょっと建築現場も更地を見るよりは、ちょっとできかけとかをっていう方がそそるかなという気がして、お急ぎでなければもう少し先でもいいかなという気はしました。

(座長)

はい皆さんありがとうございます。

ちょっと僕の方から言い訳じゃないですけど、このまちプラの住民自主企画っていうのは、まちプラの図書館があって図書館は図書館なんですね。それ以外は下手すると貸し館なんです。貸し館になってしまうんですね。もちろん貸し館業務は貸し館業務で大切なことなんですけど、そこに住民のいろんな方が、年齢も関係なく世代も関係なく、男女関係なくいろんな方が自分たちでこういう活動をしたいからここでさしてくれと。そういう場になってもらいたいです。

多分ねこれあなたがやりたいが叶う、あなたのできるが増えるという企画を出すと僕の思いとしては多分かなり来ると思ってます。第1回目のワークショップで最初20何人でやきもきしてたのが、一気にドーンと50何人まで増えて、あれだけ学生の子達も何か自分たちで数学教室を開きたいとかいう企画とかね、いろんなできるがでてきたんじゃないですか。そのできるを実現させる場所。で言われたように今までのその活動されてる方いっぱいおられるですよ。今はちょっと数を控えてられるけども、何かちょっと背中を押してあげるとふぁっと出てくる。私も歴史郷土何とかに入ってるんですけど、なかなか表立った活動はないんですけど年に1回ちょっと発表会があったりするんですけど、何にしても場所ときっかけと、最終的にはお金が要るんです。じゃあその場所ときっかけとお金をすべてこのまちプラが面倒見ましょうと。企画だけあなたのやりたいを私に教えてよと。もちろん、ただ条件をつけますよ、金額が例えば何百万とかだったらそんな費用はないんで。でも5万円でも3万円でも10万円でも何かしようと思えばお金がいるじゃないですか。だからそれはもう住民自主企画でこちらが持ちましょう。場所は自由に使ってもらいましょう。もちろんまちプラの方がメインにはなるんでしょうけど、僕の個人の思いとしてはまちプラだけじゃなしに、その一つの企画が加美プラザであったり、八千代プラザであったり、いろんな場所で動いていってもいいと思ってるんです。まちプラだけがいろんなイベントをするんじゃないしに、このイベントはここでもできたら次、例えばここで展示会ができたならこの展示会を次加美プラザに持っていったり、その次は八千代プラザに持っていったり、道の駅に持っていったりとか、なんかいろんな回転するようないところを思ってます。

ちょっとこの具体的にね、僕結構具体的に実は住民自主企画応援事業ということで、結構申し込み条件とか何か暇やったんで一生懸命考えて、例えば20か30募集がいろんなところ来るんですけど、条件としては、もちろん多可町在住に限ります。勤務者に限りませんかというのがあります。それともう一つここは大切にしたいと思うのは、必ず共同相手、例えば仮にC委員さんが落語クラブで落語の会を開きたい、まちプラで開きたいって言った場合に、落語クラブと何かが共同相手を作ってほしい。そうやって繋がりができてくるんじゃないかなと。それはもちろん個人でもそうやと思うんですね。

私個人で例えば美術を教えたいというときに、美術だけじゃなしに何か別のDIYの先生と一緒に教室をしたいとか。何かそういった企画がどんどんどんどん上がっ

てくる中で、まちプラの中で住民自主企画というのが常に動いている年間的に動いているイメージです。

決してもう新しいことだけに限らず、今まで長くされておられる方たくさんおられます。たくさんグループあるんで。そういった方も大切に、そこは最終的に最初はそこがメインになってくると思うんですけど、なかなか新しいことを組み立てるのが難しいんで。できればその中から、これどうしても7年オープンなんで、企画をこれ通りましたよ、でもできるのが7年の春からなんですよって言うところちょっと間延びするじゃないですか。1年以上は間延びするんで、何個かはプレイベントとして、もう事前に生涯学習まちづくりプラザプレイベントとしてどっかの会場でもらう。

これちょっと申し込み用紙を僕作ってたんですけど、そこにはね、テーマとして学ぶとか集う、繋がるとか、あと図書館とか、そういうキーワードを入れてるんです。その中で自分たちがしたいことはこれなんやっていうような、丸を書いてもらうんです。もう全くその学ぶとか集うとか繋がりとかに関係ないもんをされても困るんで、図書館とか、なんかそういうところで、で、実際にこういったことを企画持って来られて、今度は僕らはというか、運営する側は今度はそれをしなげなあかんよ、実際に。そのするというのが今度は、じゃあそのためにこのまちプラに何が必要なんだろうとか、どんな支援が必要なんだ、どんな機材が必要なんだろう、それができるためにはどんな組織が必要なんだろうとか、どんな応援団体がいるんだろうというところを逆に次に考えていけるよみたいな。組織から考えるんじゃないしに、実際に住民がえらいことがあって、それをこのまちプラでやりたい。そのためには、こういう設備こういう環境でこういう組織でみたいな、逆理論で組織までたどり着きたいなという思いがあります。もちろんこの中には、図書館の共同企画とか、もうどんどん含めていきたいと思うんですよね。できれば、隣の子育て、まちプラいうても建物の中だけじゃないんだよ。外でのイベント、子育てセンターを入れてのイベント。このアスパルも含めたイベントでもいいと思うんですね。

金額ちょっと1件につき最大20万円までって書いてるのがまだ課長と相談せなあかんところですよ。これでね、20万にしてこれ50件からね。でも学生とか、中学生・高校生でも、こんな20万はいらないと思うんですけど、じゃあもう金額をもっと抑えて、僕らもよく補助金使うんですけど一番困るのが、先に払わなあかんですよねそれ自分らで。先に払って領収書を持って行って、お金をもらうんですよ、県の補助金とか。僕も今補助金出してる分があるんですけど、50万円の補助金をもらえなたって喜んだら50万円先払いせなあかんです全部自分が。これ非常にしんどい。

これの違うところは先に50万円を渡します。どうぞ使ってください。その代わりおつりができたらちゃんと返してね。いうところは他の補助金とはちょっと違う。そういうのが窓口が広いかな。やりやすいんかないという思いがあつてのこの第2部です。

ちょっとね、文字は確かにこの1面だけじゃ何のこっちゃさっぱり分からへんところがあるんで、これから橋本さんが検討してもらえと思うんですけど、わかりやすいように。

多分広報だけじゃないしに、パンフレットをもうちょっと具体的な申し込み的なことも含めて条件的なことも入れていけたらな。で、これを20件だったら20件、もう最大を決めておいて、予算の関係もあるんで。仮に最大10万円にします。募集

	<p>団体は 30 団体までしますとかに決めとく。それをこのワークショップに来ていただいて、こんなことをするんですっていう発表をしてもらってそのときに僕たちが審査員じゃないんですよ。そこで何て言うんですかね。そういう企画をされるのであれば、事前にプレイベントとしてどうですかとか、この企画は、この企画とくっつけられたらもっと大きな企画なりませんとか、何かそういう提案というか助言というか、そういったものがこのワークショップの中でお互いの発表している中で僕らが提案しなくても多分知らん間に横の繋がりができていくのかなみたいな思いがあると思うんです。</p>
(B 委員)	<p>いいですか。私ら昭和の人間なので、どうしても講座とか今までの茶道やお茶やっというイメージなんですけど、これからの子たちはそれこそ例えばクッキーを焼くのがとても上手、スイーツを作るのがとても上手な子達がオープンスペースで売りたいっていうようなことも可ですか？</p>
(座長)	<p>OK です。 今山田錦の何かあるんですよ。粉にして。</p>
(生涯学習課長)	<p>米粉のやつね。</p>
(座長)	<p>パンにしたり</p>
(B 委員)	<p>いつもみのりっていう冊子が来たらいつも社高校の子たちが何か新しいのを開発してるじゃないですか。ああいうのを高校生や中学生がやってもいいんですね。</p>
(座長)	<p>そうです。</p>
(B 委員)	<p>それこそ今、本屋さんでもね、全部売らんじゃなくて、これだけの本箱を私が売りますという感じでね、箱主って言うんですけども、そういう感じのものを考えてきたらいいということですね。 旧の加美町でふれあい祭りっていうのがね運動公園であったときに、大阪ガス提供で加藤先生がこられてお料理コンテストがありましたね。ああいう感じでお料理コンテスト、米粉を使ったお料理コンテストをやってみたくてかいう、そういう持ち込みでも大丈夫なんですか。</p>
(座長)	<p>それも OK です。</p>
(B 委員)	<p>あのときは商工会が中心だったんですか。私応募したんですけどね、出たんですけど、どこが主催やったか。何かパイナップルと百日どりを使ってっていう。隣保の中で何回も何回も言って、これで OK 言ったら隣保のお葬式ができたんですけどね。だから応募は通過したんですけど、当日は行けなかった。もうみんな隣保なもんばかりやったので。 あれ燃えましたよ、若い頃、ほんとに。</p>
(座長)	<p>そういうのがしたいんです。</p>

僕、実はね、伊丹の古本市に、毎年毎年本、古本の免許持ってるんですよ。取ったんですよ。古物商。古本を1箱なんか、場所を借りてダンボール箱1箱なんか、1日千円やったかな。なんか借りて持って行って売ったり。面白いんですそのイベントがね。

(B委員)

兵庫県のだいかい文庫って豊岡で今流行ってるんですけども、何かそういう企画なんかも。だから、どんなのがいいかっていうの私なんか古い人間やから講座とか。だから若い人たちに向けたらもう何かビーズのアクセサリーがとても上手に作る子達もね、こんな売りたいとなったら、あれかな問題になるけど、ちょっとそこら辺はわからないですけども、例えばをたくさん作ってたら、それやっぱちょっと出してみようかとか、そしたらその辺りのお友たちとのコミュニケーションをね。お料理教室に出るときもめっちゃ隣保は燃えましたからね。コミュニケーションがよくとれて。だからそういう感じをこれからの若い子たちも味わってもらえたらと思うので、いろんなあれがあると思うんですね。例えばたかタータンのチェックのあのキレを作って売りよっての人もありますけど、中学生で裁縫の上手な子なんかやったら、ちょっとそれを出してみないとか言って、それこそ例えばがあったら、それやったらやりたいな。

(座長)

播州織で子ども服コンテストとかいうて何かありましたよね、幼稚園の服を。

(B委員)

園服ですか。

(座長)

はい。園児の服を募集して

(B委員)

だから非常に得意な子がたくさん若い子たちにいるんじゃないかなと思って、それこそラジコンでガーっと車を動かすのを広場でやりたいとか、撮り鉄じゃないけど鉄道の写真ワーツと載せるでとか、そういうようなそういうね。

(座長)

そういう講習会とか展示会とかね、もう何でもありなんですよ。

(B委員)

それがね、このこういう紙だけでは通じないんですね。

(座長)

それをね、通じるように橋本くんが。

(生涯学習課長)

苦しいなあ。まあでもそうやろうな、文字だけじゃわからへんもんね。

(B委員)

どうしても昭和の人間は書道教室とかなんかね、なんとか教室とかね。そうじゃないねん。これからの子たち、これから30年40年使ってくれる子たちは本当にオールフリーっていうか、そういうとこなんよねっていうようなことを橋本さんまたお願いします。

(座長)

いや本当に僕ねそういうの。そういうのがいっぱい集まって、そういうのを発表する中で、何かそこで多分ね、出会いができるんですよ。一緒のようなことを思ってもらえる方が繋がりができて、また大きなイベントというか大きな繋がりになっ

て、そこに上手に図書館とそのイベントが重なるようなイベントも絶対できるはずやと思うんですよ。

今度ハヤブサ消防団とかいうドラマがあつて。作者は池井戸潤さん。例えば仮に消防団が何か防災何とかのイベントをしたい。1週間したいって、そういうのがまた居てるんですよ。笑うようですけどね。今の若い子なんですよ。無茶言うんですよ。消防車を一個中隊並べて、そこで放水がしたいとかね、昔ありましたね。かなんのですよ。今の若い子面白いですよ。高い色水なんかしたら人が集まるやろとか、防災の意識が高まるやろとか言うんですよ。僕らからしたら、いやそんな自分ら時間とって大変やでって思うんですけど、でもそういったイベントの中で何かその池井戸さんの本のコーナーが具体的にあったりね。ある部屋では防災グッズの防災週間みたいな防災イベントみたいな。なんかそんな絶対出てきますよ。

(A委員) いや場所的にも浸水するリスクも高いいう話だから。防災っていうのはもうキーワードやと思います。ここ自身が、それはもう大きいですね。もうぜひやってほしい。

(A委員) 本当好きな子供もいるもん。ほんま消防自動車の後ついて、自転車で追いかけているから。

(生涯学習課長) これ日どうします。

(D委員) 9月が暑いっていうことになったら、10月はイベントが多いでしょ。そしたら11月とかですか。

(教育総務課長) ちなみに11月5日にふれあいまつりを。

(座長) これはね、あくまでもワークショップで、その発表の場だけでいわゆる思いを伝えてもらう思いを発表する場だけになってしまうけどね。実際にできるのは、その令和7年の春、できてからなんじゃないですか。ただもちろんそれまでに僕が思ってるのはそのプレイベント。

(D委員) ここでは、いろんな人が住民がこんなことやりたいっていうプレゼンをする場ですか。

(座長) プレゼンというかね、プレゼンいうたら何かそういう選択するみたいで嫌なんで、もうそれはもう来た人はもうみんな通過してる人なんですよ。だからもうねえ課長。これでいいですか。9月18日で。

(生涯学習課長) よければ、それで全然。

(座長) お金的なことはね。

(生涯学習課長) お金的なことはね頑張りますよ。

(座長)	令和7年ですか、プレイベントは5つぐらいできるようにしてね。
(生涯学習課長)	はい。がんばりますよ。
(座長)	ちょっとそこら辺をもうちょっとわかりやすいチラシというかものに変えて、もう一度皆さんにメールか何かでお知らせをします。もう再度また集まっていたくいうのはあれなんで、すぐにお知らせをして、とにかく急がなあかんのは8月の広報には載せたいと思うので、まず8月の広報のそのワークショップのこの左側これはもうざっくりした形になると思うんです。それをまず皆さんに送って確認してもらおう。それとは別に、このチラシももうちょっとわかるきっちりわかりやすい版を作って、広報に織り込んで入れていくというところです。
(生涯学習課長)	8月号ということは、チラシ間に合う。
(事務局 橋本)	18日
(生涯学習課長)	今日何日
(事務局 橋本)	10日
(生涯学習課長)	8日しかない
(事務局 橋本)	校正まで回すとかなり厳しい。
(座長)	最悪広報は、間に合えへんかったら対象の子だけでもいいinchやう。
(事務局 橋本)	こっちはいけると思うけど、チラシが間に合わへんかなと
(座長)	一緒に考えよ。一緒に考えるわ。
(生涯学習課長)	ちょっと委託に出さんとそれは無理ですね。座長。
(座長)	今日は欠席だけどこういうのは早希ちゃんが得意なんや。
(生涯学習課長)	ちょっと委託うかお金よう払いませんけど。
(事務局 橋本)	校正いろんな意見もらってそれも直さなあかん
(生涯学習課長)	ちょっと厳しい
(座長)	意見が出る方がいいですよ私は。 ワークショップなんですけど、今いろんな日にちが出てきてるんですけど、9月にしたいなとは思うんですね。ただ9月祝日が、ちょこちょこあるんで、ここはた

	だ9月18日が敬老の日なんで、多分敬老の日の何か各地域か、あれ集落単位で何かイベントが
(教育総務課長)	集落単位で敬老の日あれするいうか
(座長)	してかもしれんね。
(教育総務課長)	今まで学校単位やったのが集落単位になったと思うので、そこら辺だけですね。
(座長)	9月入ったら運動会とかあるんですよ。
(教育総務課長)	この辺は小学校運動会でしょう。 中学校はこの辺かな。
(座長)	10月の方がええんかな
(生涯学習課長)	そうやね。
(事務局 橋本)	チラシはあとでもええのかな
(座長)	日にちをどうしましょう。どっかいい日があったら。
(教育総務課長)	10月、最初のこの辺は祭りですね。
(座長)	10月の15日までずらせば、もう祭りはないんで。 一つの案として10月15日の日曜日なんですけど。
(事務局 橋本)	15日は子育てのたかっこフェスタというのが
(座長)	10月の22日って何かあります。
(事務局 橋本)	10月の22名の中町中の体育祭です。 加美中も。
(座長)	10月29日の日曜日は同級生のソフトボール大会が。
(座長)	11月入りましようか。でもその方が助けかる
(生涯学習課長)	ちょっと助かるね。
(事務局 橋本)	10月1日は
(座長)	10月1日は、逆に祭りのなんや。

(生涯学習課長)	段取りせなあかんもんね。
(座長)	11月3日の文化の日
(事務局 橋本)	文化祭
(座長)	みんなめっちゃ忙しいな
(生涯学習課長)	行事、行事でね。
(座長)	11月5日
(教育総務課長)	が、ふれあいまつり
(座長)	11月12日
(教育総務課長)	大丈夫。
(事務局 橋本)	12は大丈夫です。
(教育総務課長)	消防は大丈夫なんですか。
(座長)	消防は多分この頃には多分ないんじゃないかな。 11月までずれていいか。いいですか、皆さん。11月の12日日曜日。 これ愛称募集どうしましょう。8月の末で、
(生涯学習課長)	これはもう行きましょう。
(事務局 橋本)	はい。
(座長)	そこまで引き延ばします？
(生涯学習課長)	いやいや、ここでもうよろしいやんか。 8月で。例えば9月の15とか
(座長)	発表はどうしましょう
(生涯学習課長)	発表したらいいんちゃうん。その11月に。
(事務局 橋本)	贈呈するまで記者発表もせずに。
(生涯学習課長)	うん

(事務局 橋本)	決まったけど隠して。
(生涯学習課長)	いや、え
(事務局 橋本)	9月の前半にはいちおう内定は。
(生涯学習課長)	ほんならその発表はして、
(座長)	この表彰とか思いだけをちょっと後で
(生涯学習課長)	はい。そうさせていただきますようか。
(A委員)	愛称なんですけど、急ぐ必要があるんですか。 いや、愛称をいつまでに決めないといけない。
(生涯学習課長)	12月ぐらいまでには決めてほしい。
(座長)	そうです。ようするに募集を伸ばせばいいわけでしょ。
(生涯学習課長)	銘板っていうか看板の関係があって、一応年内には決めて欲しい。
(座長)	年内に決めたらいい。 これ愛称募集の期間を9月の末までに延ばしてもいいちゃうん。
(生涯学習課長)	それはあります。なんかそれでちょっと橋本くんの顔が緩んだから。
(A委員)	そしたらその第2部のワークショップってその場で企画を考えるということですか。それまでに企画を
(座長)	素案みたいなのをもういただいて、それを自分たちのこんなことがしてこんなことがやりたいなというのを発表していただく。必ずこの発表するというのも条件。
(生涯学習課長)	広報はもう8月号載せる。
(事務局 橋本)	そいですね。日がだいぶ空くけど。
(座長)	いいんちゃう
(事務局 橋本)	で、もう1回折り込み入れます。
(生涯学習課長)	もう1回折り込みして。そしたらちょっとゆとりがでるし。
(座長)	はい。それはありがとうございました。

	<p>第2回ワークショップも具体的に決まりました。またちょっとメール等で皆さんでやり取りしながら決めていきたい部分がありますのでよろしくをお願いします。</p>
次第3	その他
(座長)	<p>次回の委員会の日程調整をするのですが、実はあの次回の委員会の日程予定をその愛称を決めるのをメインに考えてたんで、愛称募集が後ろにずれたんで、別に9月にしなくてもいいかなと。9月の前半にはせなあかんかなと思ってたんですけど。だから10月に入ってからでということでもいいですか。</p>
(事務局 橋本)	それかもう運営体制を
(生涯学習課長)	そやね。運営体制を先に。
(座長)	それとその途中経過と。
(生涯学習課長)	そうですね。
(座長)	愛称募集の途中経過。
(事務局 橋本)	やっぱり9月に。
(生涯学習課長)	いや別に10月にしてもいいけど
(事務局 橋本)	9月にしても8月丸々1ヶ月あく
(生涯学習課長)	そうか。
(事務局 橋本)	だから9月のどこかちょっと早い段階の方が。
(座長)	<p>9月の前半にまたお手数かけますが、させていただいた愛称募集の状況と住民自主企画の状況を検討するのとあります。</p> <p>あと、それに合わせて今度は運営の方というところで行きたいと思います。</p>
(生涯学習課長)	<p>それと後出しになるんですけど、12月の9日やったからね。9日にその図書館案件で、吉田田タカシさん言うて牧野の方をお招きして、ここでちょっとワークショップみたいなことと講演会みたいなことを企画されてまして、一応委員さんは強制じゃないですけど来ていただいて、ちょっと目で見るといいことでしたらなと思っております。</p>
(A委員)	すいません。もう少し内容を教えていただきたい。
(図書館長)	とにかく居場所作りっていうことを、奈良県の方で全国的になんですけどされてまして、ちょうど朝日新聞の方に大きく出たんです。それでそういうので今からま

	<p>ちづくりプラザしていく中で、図書館だけじゃなしにそういう場所作りするっていうのはよく合致する内容じゃないかないうので、ちょっと呼んでみたらどうやと交渉してもらったら、了承いただいたんで。ちょっとうちの力だけではどうしてもできなかったの、生涯学習課さんの方と一緒に共催いう形で、場所もここでしたら下の広いところも中身によってはできるので、トークライブみたいな形で一応開催したいなと思っております。</p>
(座長)	<p>皆さんぜひ12月9日は日を空けていただいて、ご参加いただきますように。またチラシかなにかありますか。</p>
(図書館長)	<p>今の新聞のコピーがちょっとだけありますんで、持ち帰りいただいたら思います。</p>
次第6	閉会
(山本副座長)	挨拶